

大野地区まちづくり推進協議会

1 基本データ

○地区名

大野地区

○地区人口

14,176人(平成26年3月1日)

○面積

6.3平方キロメートル



亀山の頂に建つ越前大野城

○地区の沿革

大野地区は、大野盆地の北西部の平坦地に位置し、東は上庄地区に接し、南は小山地区と上庄地区、西は乾側地区と小山地区、北は下庄地区に接していて、政治・経済ともに大野市の中心である。

古代より中世初期にかけては、政治経済の中心は小山地区や乾側地区にあり、大野地区は荒涼とした原野に数村が所在していたと考えられている。

中世中期には、亥山城(現在の日吉神社付近)の周辺に小規模な城下町が形成されていたが、今から430年前、天正期に金森長近が大野城を築城し、新しく建設した城下町が大野地区中心部の街区や

用排水路の原型となっている。

明治4年の廃藩置県により大野藩は大野県となったが、その年のうちに福井県、



名水百選「御清水」

足羽県とめまぐるしく変わった。県名はその後明治6年に敦賀県、明治9年に石川県と変遷したが、明治14年に再び福井県となって現在に至っている。

足羽県地理誌によると、廃藩置県当時の大野地区は戸数2,083戸、人口9,052人であった。

明治22年の町村制施行により、5つの小区がまとまって大野町が誕生した。大野町は、昭和29年の町村合併により大野市の一地区となって現在に至っている。



亀山から見た市街地

○実施主体

大野地区まちづくり推進協議会

2 現状と課題

大野地区は、亀山にそびえる越前大野城、碁盤目状に区切られたまち並みや寺町通り、城下町誕生のころから続くといわれる七間朝市など、400年を超える歴史の昔日を彷彿とさせる景観を今も色濃く残している。

広大な森林を持つ本市は湧水が多く、当地区には名水百選にも選ばれている「御清水」をはじめとする湧水地がいくつもあり、古くから地下水を生活用水として利用してきた。この地下水は、現在でも多くの家庭が飲み水などに利用しており、この地ならではの豊かな水文化を育んでいる。



平成の名水百選「本願清水」といとよの里

当地区の「歴史・文化・伝統・水に育まれた城下町」を魅力として、市ではまちなか観光を推進しており、当地区への観光入込み客数は増加傾向にある。

しかし近年、車社会の進展や大規模小売店舗の郊外立地に伴って、人口が市街地から郊外等へ流出しており、市街地では商業活動の衰退、後継者不足等により空き店舗

や空き地などが増加している。

こうしたことから、市では平成20年度に中心市街地活性化基本計画を策定し、交流人口の増加、居住環境の向上、商店街の活性化などに取り組んでいる。



六間通り

一方、当地区は区域の大半を市街地が占め、また城下町を中心に発展した歴史などから、他地区のような「むら社会」の側面が無く、地区住民の多くは「大野地区民」としての連帯感、責任感が希薄であり、まちづくり活動への参加意識も極めて低い。

以上のようなことから、本年度は地区住民の連帯感の醸成と来訪者へのホスピタリティ向上を課題として、地区のシンボル「亀山」の魅力アップに取り組むこととした。



寺町

3 事業の内容

亀山東側緩斜面の除草管理や整備をすすめ当地区のシンボルである亀山の魅力を高めた。



亀山東側緩斜面の整備

また、昨年に引き続き亀山の植物観察会を開催した。25年度は昨年度と季節を変え、秋の亀山の植物を観察した。また、『亀山自然観察会記念冊子』を作成した。



観察会オープニング



講師の説明を聞く参加者

なお、協議会発足40周年を迎えるにあたり地区内外から多数の参加者を招待し40年の歩みを振り返る、記念式典、記念講演を開催した。

会場には協議会がこれまでに行ってきた事業の写真を展示した。



発足40周年事業 記念式典



大野市長 基調講演



特別講演 講師 宮田 佳代子 氏

4 事業の成果

亀山東側緩斜面の階段の整備により景観が向上した。また一部老朽化していた箇所を改修することで、安全性を確保することが出来た。また、亀山植物観察会では、幅広い年代からの参加があり、散策を通して亀山の魅力を再発見した。

発足40周年記念事業は、地域住民の参加機会を創出し連帯感を醸成する機会となった。



整備された階段



亀山観察会で解説を受ける参加者ら



40年のあゆみ スライド紹介

5 今後の展望

自然観察会や亀山東側緩斜面の整備等の事業を継続し、地区に貢献する。

活動の成果を冊子にまとめるなどして、公民館や小学校などに配備し、大野地区のシンボリック的存在である亀山の魅力発信を行う。



亀山東側緩斜面の管理（春）



亀山東側緩斜面の管理（夏）



亀山東側緩斜面の管理（秋）